

科目名	臨床検査総論実習 (Practice in Laboratory Medicine)			科目コード	415
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次後期	関連DP	臨③⑤
担当教員	徳原 康哲、細川 翔				
授業概要	各種検査の正確な操作と判定法、干渉物質の影響などについて教授する。また、シミュレーターを用いての採血方法について教授する。				
授業目標	臨床検査総論の講義で学んだ各種検査の原理と意義を理解した上で、それら検査の正確な操作と判定ができることを到達目標とする。				

授業計画

回	項目	内容
1～2	尿検査 (1)	尿試験紙法の操作・判定方法
3～4	尿検査 (2)	尿比重検査 (試験紙法・屈折法)、尿蛋白定性検査 (試験紙法、煮沸法、スルホサルチル酸法)
5～6	尿検査 (3)	尿糖検査 (試験紙法・ベネディクト法)、アスコルビン酸の影響
7～8	尿検査 (4)	尿潜血反応 (試験紙法)、便潜血反応 (免疫法)、アスコルビン酸の影響、妊娠反応
9～10	尿沈渣 (1)	標本作製方法・生標本とステルンハイマー染色標本の鏡検
11～12	尿沈渣 (2)	赤血球・白血球・扁平上皮・移行上皮・尿細管上皮細胞の形態と報告方法
13～14	尿沈渣 (3)	赤血球・白血球・扁平上皮・移行上皮・尿細管上皮細胞の形態と報告方法
15～16	尿沈渣 (4)	各種円柱・結晶の形態と報告方法
17～19	脳脊髄液	標本作製方法・各種細胞判定と報告方法
20～21	採血実習 (1)	標準採血法ガイドラインに沿った採血手順の確認
22～23	採血実習 (2)	採血シミュレーターを使用
成績評価方法		レポート・スケッチ (70%)、筆記試験 (30%)
教科書		日本臨床衛生検査技師会「JAMT 技術教本シリーズ 一般検査技術教本」(丸善出版)
参考図書等		日本臨床衛生検査技師会 尿沈渣検査法編集委員会「尿沈渣検査法 2010」(日本臨床衛生検査技師会)、三村邦裕・宿谷賢一「最新 臨床検査学講座 一般検査学」(医歯薬出版)
授業時間外の学習について		スケッチを行うため、尿沈渣像に関する予習を必要とする。レポート提出があるため、復習を必要とする。
関連科目		414 臨床検査総論⇒本科目⇒446 臨地実習Ⅲ
備考		スケッチブックと色鉛筆を用意すること。